

2017年12月8日（金）

メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証一部 3902）



恵寿総合病院 理事長の神野 正博氏に 「CADA-BOX」のスペシャルアドバイザーを委嘱 ～「患者参加型医療」を目指し、診療情報共有の意義を発信～

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：岩崎 博之）は、社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院（石川県七尾市、以下、恵寿総合病院）の理事長である神野 正博氏に「CADA-BOX」のスペシャルアドバイザーを委嘱することをお知らせいたします。

恵寿総合病院は、1994年に日本の病院で初めてSPD（物流管理）システムを導入して以来、積極的なICT化により医療の質向上を実現し続けています。

理事長である神野氏は、「“生きる”をデザインしよう」という想いのもと、「けいじゅヘルスケアシステム」（※）を確立し、地域住民が自分の医療・健康情報を含めた生活情報全てを自身で管理できる「パーソナルヘルスレコード（PHR）」を提唱しています。

その取り組みの一環として2017年9月には、「患者参加型医療」を推進するため、「CADA-BOX」を北陸地域でいち早く導入いたしました。

当社はこの度、「パーソナルレコード」の第一人者である同氏に「CADA-BOX」のスペシャルアドバイザーを委嘱し、生活者が医療・健康情報を自身で管理・閲覧することの意義や重要性の発信、「CADA-BOX」への企画アドバイスなど、積極的に参画いただくことになりました。



【神野氏よりコメント】

恵寿総合病院は、これまで様々な方法で医療情報の共有に取り組んでまいりました。しかし次第に、医療者間での情報共有だけでは可能性は広がらず、「患者自身が自分の情報を持つ」仕組みでなければいけないと考えようになりました。

「CADA-BOX」は、まさに自分達が目指す社会を後押しするための意義ある仕組みであり、その将来性に大きな期待を寄せています。日本に住む皆さんが、自分の医療・健康情報を自身で管理し、「“生きる”をデザインする」、そんな社会の実現に向けて力添えしたいと考えております。

【プロフィール】

社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院
理事長 神野 正博

専門は消化器外科。金沢大学第二外科助手などを経て、92年に恵寿総合病院に外科部長に着任。93年に院長、95年に医療法人董仙会理事長に就任。全日本病院協会副会長、日本社会医療法人協議会副会長、中央社会保険医療協議会入院医療等の調査・評価分科会委員、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部日本版CCRC構想有識者会議委員などを務める。

NEWS RELEASE

2017年12月8日（金）

メディカル・データ・ビジョン株式会社（東証一部 3902）



（ ）「けいじゅヘルスケアシステム」とは

能登半島で先端医療から福祉まで途切れることのない患者のサポートを行う恵寿総合病院を核としたグループ。チーム医療により最適な診断をし、最短で治療を受けられる体制を構築するとともに、ITによる情報共有（1患者1ID）により急性期医療から介護・福祉まで途切れることのないヒューマンサービスを提供しています。

【恵寿総合病院について】

名 称 : 社会医療法人財団 董仙会 恵寿総合病院

設 立 : 1934年9月

理 事 長 : 神野 正博

所 在 地 : 石川県七尾市富岡町94番地

診療科目 : 外科、消化器外科、乳腺外科、内科、消化器内科、心臓血管外科、循環器内科、脳神経外科、神経内科、整形外科、呼吸器外科、形成外科、美容外科、産婦人科、家庭医療科、緩和医療科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科、皮膚科、リハビリテーション科、放射線科（全24科）

病 床 数 : 426床

U R L : <http://www.keiju.co.jp/>